

# 中宮北小だより

～校長室より～

令和元年11月29日(金)

第9号

枚方市中宮北町4番1号

枚方市立中宮北小学校

校長 中田祐之(まさゆき)

## 12月になります

年末が近づいてきて、明るいイルミネーションが飾られています。今年も残り少なくなりました。2学期は、多くの行事がありました。児童一人一人が色々な経験の中から、しっかりと自分を見つめ直し、新しい目標をつかんでほしいと思います。今年度は学校生活の中での「あいさつ」を積極的に呼びかけてきました。人間関係作りや基本的生活習慣として、多くの児童に身に付けてほしいと考えております。あいさつという行動が「気持ちよい心」を生み出すことに気付いてほしいという願いもあります。

## 家庭学習の習慣や方法について

### (1) 家庭学習の習慣(家庭学習のポイント)

- ① 毎日必ず学習する。 → 家庭学習の習慣化
- ② テレビを見ながらしない。 → 集中力の向上
- ③ 机の上をきれいにし姿勢よく行う。 → 学習の効率化
- ④ 学習が終わったら、次の日の準備をする。 → 忘れ物の防止

### (2) 発達段階による家庭学習

低学年 → 学校の宿題ができる。家庭でも学習しようという気持ちが持てる。

中学年 → 学校の宿題を確実にできる。宿題以外にも少しずつ自主学習ができる。

高学年 → 宿題が出なくとも基本の学習ができる。興味や必要性のある自主学習ができる。



## 感染症について

大阪府下では11月中旬から感染症の患者数が増えており、枚方市内でも学級閉鎖となった学校も出てきました。インフルエンザは空気中に漂っているウイルスを吸い込むことによって感染し、感染性胃腸炎は、ノロウイルス等に触れた人の手を介して感染が拡大していきます。このように、感染の仕方はウイルスによって違いますが、どちらも集団感染を予防するためには、石けんでの手洗い・うがいをしっかり行うことが基本となります。子どもたちが毎日元気に過ごすために、ご家庭でもご留意ください。



## 第21回枚方市小学生駅伝競走大会

11月16日(土)第21回枚方市小学生駅伝競走大会が淀川左岸河川公園 枚方地区 水辺公園周回コースで行われました。出場した児童は大会前に熱心に練習していました。精一杯自分の持つ力を発揮して、しっかりと頑張る良い記録をだしていました。6区で6年生女子が区間2位の記録で表彰されました。タイムトライアルで6年生男子が6位になりました。

## 冬至について

今年は12月22日(日)が冬至(とうじ)です。太陽が最も南に片寄るので、正午の太陽の高さは一年中で一番低くなります。そのために昼が最も短く、夜が最も長い日になります。昔から冬至南瓜といって南瓜(かぼちゃ)を食べたり、お風呂に柚子(ゆず)を浮かべて柚子湯にする習慣があります。このような習慣には病気を防ぎ健康で寒さを乗り切ろうと願いが込められています。南瓜はビタミンA(カロテン)を多く含んでいるし、柚子の香りは気持ちを静める効果があります。

## ノーベル化学賞について

吉野 彰(よしの あきら)さんがノーベル化学賞を受賞しました。ノーベル賞というのは、その名の通り、ノーベルという人にちなんで作られた賞です。授賞式は、ノーベルの命日である12月10日に、スウェーデンのストックホルムのコンサートホールで行われます。



今から150年くらい前にノーベルはダイナマイトという爆薬を発明しました。このダイナマイトができたことにより、それまで人の手で作業をして何十日も何か月もかかっていた道路や鉄道やトンネルを作る工事が、少ない期間で、できるようになりました。ダイナマイトはよく売れて、ノーベルは豊かになりました。

しかし、困ったことがおきました。それは、ダイナマイトが爆弾として戦争の道具として使われるようになってしまったのです。ダイナマイトが売れてノーベルが豊かになればなるほど、たくさんの方が戦争で犠牲になりました。ノーベルは、このことを深く悲しみました。

そこで、ノーベルは、自分の財産を使って「世界の平和や科学の進歩のためにつくした人に賞金を贈ろう」と考えて、ノーベル賞が作られました。

吉野 彰さんがノーベル賞を受賞したのは「リチウムイオン電池」を開発したからです。「リチウムイオン電池」というのは、いわゆるバッテリーです。デジカメ、スマホ、パソコン。もっと大きなものでいえば、電気自動車、飛行機など、今ではたくさんの機械にバッテリー、つまり「リチウムイオン電池」が使われています。「リチウムイオン電池」のおかげで世の中が大変便利になりました。

吉野 彰さんは、「目の前にあることの中から大人になっても取り組めるものを見つけて、頑張してほしい」と言っておられます。皆さんのまわりにはたくさんのチャンスがあります。ぜひ、自分でそのチャンスをつかんで、たくさんの方にチャレンジしてください。

\* 小学校のホームページには、カラー版の『中宮北小だより』を掲載しています。